

先輩からのメッセージ⑤

【東工大での所属学科・研究科】 理工学研究科 材料工学専攻 / 【現在の学年】 修士2年

【留学プログラム名】 東京工業大学－清華大学大学院合同プログラム

日本学生支援機構留学生交流支援制度(長期派遣) ※学位取得を目指すプログラム

【留学先国】 中国 / 【留学先大学名】 清華大学

【留学期間】 2009年9月～2010年8月、2011年4月～2011年8月

◆留学先大学

清華大学 中国最高峰の大学。

◆目的

三つあった。一つ目は、異なる文化や逆境においても通用する、自分の哲学を築くこと。二つ目は、自分の専門である材料工学に、異なる環境において打ち込むこと。三つ目は、人の感情や行動と成長市場における市場原理を持つ関連性の本質を探し出すこと、です。これらを可能にし得る環境を持つ国の一つに中国があったこと、日本と文化的に密接な関係にありながら言語・文化の理解が少なかったこと、を考慮すると渡中には魅力があった。日本の大学の卒業が一年遅れるという欠点は、二つの大学を卒業するという利点で補完出来ると考え、渡中を決めた。

◆選ぶ基準

どこに行くかではなく、留学すること自体が重要。そのうえで、自分は何が好きなのか、何に興味があるのか、将来何をしたいのか、ということを重視した。

◆研究

想定外の状況もあったが、良い経験にはなった。現地の仲間にはいろんな面で助けて頂いた、非常に感謝している。

◆授業単位について

「卒業」しなければならない為、単位は重要。特に清華大学では所謂「不可」が一つでもあったら卒業出来ない。再履修することになり、最悪の場合、卒業が一年間伸びる。情報に関しては、日本で大まかには掴んでいたものの、現地の友達からの情報が一番役に立った。何にせよ人間力がモノをいう。

◆語学面

素晴らしい学習環境を準備して頂いたにも関わらず、日本の英語教育の様になってしまい、留学前は殆ど話せなかった。自身の態度を猛省した。時間があるのなら、留学生と会話の訓練を。友達や先生方の助けもあり、現地での苦労は特になかった。

◆生活費

派手に使うか使わないかで大きく変わる。私は派手に使った方。()内は普通に過ごしたら。食費:20000円(8000円)、寮費:32000円、雑費(交通、外食、飲み会、旅行等):20000円(4000円)。[月単位換算]

◆寮

プログラムに参加すれば特に問題はなし。治安・料金・清潔さ・情報伝達スピードのバランスを考えると、留学生寮個人部屋がベスト。

◆今後の予定

再渡中し、修士を取得した後、オックスフォードかケンブリッジへ行く予定。

◆就職

軸(仕事内容、ブランド何でも構わない)を早めに決めれば、問題なし。自身は自分を高く評価してくれる企業へ就職する予定。

◆最後に

興味がある方には直接お話しします。

